

製品の取扱に関する安全データシート

[MSDS]

発行: 2001年06月25日 2003年03月14日改訂(2007年04月3日追補)
2007年09月25日(開発センター移転)

整理番号 TSR-S-020

お願い: この安全データシートの内容をご検討賜り、製品の安全性/危険性について充分なご理解をいただき、不明な点は、安全、衛生、環境保全などの専門家とご相談をいただきたく存じます。なお、一層の安全を期するため、貴社従業員、下請け業者などの本製品の取扱使用者に本データシートの情報および関連安全情報が確実に周知伝達されますよう、格段のご配慮をお願い申し上げます。

【製品名】-----

TSR-800 シリーズ 品番: TSR-821

【製造・販売業者】-----

シーメット株式会社
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5
TEL045-478-5560
FAX045-478-5569

【物質の特定】-----

成分:	含有量(wt%)
脂肪族エポキシ化合物	25~40
芳香族エポキシ化合物	5~15
ジアクリレート化合物	20~30
ポリアクリレート化合物	15~35
ヒドロキシ化合物	5~20
光重合開始剤 1	1~3
光重合開始剤 2	2~6
(アンチモン化合物:アンチモン含有量	0.30%)
安定剤	0.1~1 未満

【危険有害性の分類】-----

その他の有害性物質

【応急措置】-----

・吸入:

吸入してしまった場合は、新鮮な空気のところへ移動させる。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を施す。呼吸困難の場合は、酸素を与える。直ちに医者に連絡して指示を仰いで下さい。

・皮膚への付着:

付着した場合は、直ちに石鹼と水で皮膚を充分よく洗って下さい。汚染した衣服は洗濯してから着るようして下さい。皮膚の炎症はすぐには起きない場合もあります。皮膚に炎症と思われるものが認められたら、必ず専門医に診てもらって下さい。

・目に入った場合:

目に入った場合は、直ちに十分な流水で目を15分以上洗浄して下さい。その後、必ず医者に連絡して指示を仰いで下さい。

・経口摂取:

飲み込んでしまった場合は、グラス 2 杯の水を与え、嘔吐を誘発して下さい。意識不明の人には口から何も与えないで下さい。医者に連絡して指示を仰いで下さい。

【火災時の措置】-----

・火災・爆発の危険性

周囲の高温により容器内樹脂が重合を開始し、暴走により樹脂容器を破裂・爆発させることもあります。

・消火手段

二酸化炭素・散水・泡・水噴霧等、周囲の材料に適した手段を用いて下さい。

・特別消火活動への指図

適切な防護なしに火に近づかないでください。水溶性が低いので、水は消火活動の役には立たないでしょう。密閉した樹脂容器を冷すために散水・水噴霧を使用して下さい。

【漏出時の措置】-----

清掃作業を始める前に、「火災・爆発の危険性」と「応急措置」を再確認して下さい。清掃作業中は防護具を着装して下さい。熱源・火花・炎・衝撃・摩擦・電気からは遠ざけて下さい。流出には水路を作ってください。液体材料が下水溝・河川・低地に侵入しないように予防策を講じてください。おが屑・砂・オイルドライ・他の吸収性素材で吸収して下さい。

少量の漏出時の場合は、処理前に廃棄物を透明ポリ袋等に入れ日光やその他の紫外線に曝して固化させてから廃棄してください。大量の漏出時の場合、日光やその他の紫外線により反応が開始し発熱により火が出る可能性があります。直ちに不透明の容器に入れ、産業廃棄物処理を行って下さい。大量漏洩の時は弊社にご相談下さい。

【取扱いおよび保管上の注意】-----

・全般的に適用する管理方法と予防:

適切な換気のもとでのみ使用して下さい。熱・火花・炎からは遠ざけて下さい。コンテナは涼しい場所に保管して下さい。波長 400nm 以下の光を遮光した状態でのみ、コンテナを開け混合物を取扱って下さい。

樹脂容器はしっかりと蓋をして保管して下さい。この材料により汚染される恐れのある場所での食物・飲料・煙草の保管や飲食・喫煙は避けて下さい。

暗所に保管して下さい。5～30℃で湿度 60%以下に保ち、凍結しないように保管して下さい。

液状樹脂の取扱いの際には、常に安全眼鏡を装着して下さい。そして、皮膚への付着を避けるために、ゴム、ラテックス等の手袋を必ず着用して下さい。誤って皮膚に付着した場合は、石鹼を用いて水で充分洗い流して下さい。その後、必要に応じてハンドクリーム等を塗って下さい。炎症が認められたら必ず専門医に診てもらって下さい。

指定通りの方法に従って液状材料を紫外線に曝し熱処理すると、材料は固化します。固化した材料にふれてもほとんど危険はありません。固化した材料の取扱いの際には、防護具の装着は必要ありませんが、目・皮膚・衣服への付着を避けて下さい。

【暴露防止措置】-----

設備対策 : 洗眼施設および身体洗浄施設を設置する。
保護具 : 保護眼鏡
保護手袋

【物理／化学的性質】-----

形状 : 油性液体
色 : 透明、無色
比重 : 25℃で 1.13～1.16
水への溶解度 : 僅少
粘度 : 200～800cps

【危険性情報】-----

不安定性 : 白色光・紫外線・高熱への曝露は製品を固化させます。
不相容性 : 強い酸化剤・酸・塩基と不相容
分解 : 強い酸・塩基が加水分解を起こすこともあります。
重合 : 重合が起きる可能性があります。重合の原因となる条件は露光・高熱です。
引火点 : 200℃以上

【有害性情報】-----

・発癌性

当材料の成分で IARC・NTP・OSHA・ACGIH に発癌物質としてリストされているものはありません。

・許容濃度

日本産業衛生学会(1999年版) : 未確定
TLV(ACGIH)(1999年版) : 未確定
PEL(OSHA) : 未確定

【廃棄上の注意】-----

産業廃棄物処理して下さい。液体材料の廃物は、指定通りの方法に従って有資格の廃棄物処理業者により焼却して下さい。少量の場合は、紫外線にゆっくりと曝し熱処理すると固化しますので、産業廃棄物として廃棄して下さい。この固化した材料は非危険産業廃棄物です。

【輸送上の注意】-----

輸送は温度を5～30℃にして行うことが望まれます。輸送中の温度は、40℃以上、5℃以下にならないように注意して下さい。

【適用法令】-----

消防法分類	: 危険物第4類第4石油類 危険等級Ⅲ
安衛法分類	: 該当せず
有機則分類	: 該当せず
毒劇及び劇物指定令	: 第2条第7項規定のアンチモン化合物
PRTR法	: 第1種指定化学物質（政令番号25）の指定のアンチモン化合物を含有するが、規定値以下である。

【その他】-----

エタノールやIPAとの混合による反応の有無	: なし
-----------------------	------

以上